

## 令和3年度 音楽総合研究 シラバス

科目名	単位数	学年	学期	必修・選択	担当
音楽総合研究	2	3	全	文系選択	安田 久美

### 1 概要および目標

- (1) 器楽演奏やその他の音楽活動を通して、音楽への興味・関心および理解を深めるとともに、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を養う。
- (2) 鍵盤楽器を中心に演奏力を身につけるようにする。演奏を通して音楽の基礎・基本を定着させ、卒業後の進路にも役立つようにする。

### 2 成績評価

実技テスト・定期テスト・提出物・授業態度等を総合的に判断し、評価する。

実技テスト	ワークシート・小テスト	提出物	授業態度
50%	30%	10%	10%

### 3 使用教材

器楽曲集や合唱曲集、楽典ワークなどを必要に応じて利用

### 4 授業の展開と形態

文系クラスの選択授業に位置づけて授業する。

### 5 学習方法

クラスの実態に即した教材選択を行い、より多くの演奏活動を体験させる。

### 6 履修上の注意

特に制限しない。

## 音楽総合研究 学習計画

月	課題・目標	学習内容・要点など	配当	実習・評価等
4 5	郷土の音楽 1. 三線の弾き歌いを習得する 2. 郷土の楽器に関心をもつ	「島ん人ぬ宝」「安里屋ユンタ」 ①三線の基本的な演奏法を練習する。 ②演奏したい曲を選び、個々のペースで練習する。 ③三線を弾きながら歌うことを練習する。	8	関心をもって三線に触れることができたか 実技テスト
5 6	響きを楽しむ 1. ハンドベルの演奏法を知る 2. ベルの響きに親しむ 3. 音名と音階を理解する	「オーラリー」「大きな古時計」 ①模範演奏を鑑賞する。 ②楽譜を見ながら、各自の役割を練習する。 ③音を合わせることによってベルの響きを確認する。 ④全員で合わせることにより、音楽をつくりあげる喜びを味わう。	10	各自の音の役割を確認できたか ベルの旋律の響きを感じとることができたか ワークシート
6 7	合唱を楽しむ 1. 歌い合わせる楽しさを味わう 2. 歌詞に合った表現の工夫を考える	女声合唱 ①楽譜を見ながら各自パート練習する。 ②和声の響きを確認する。 ③歌詞の意味をとらえ、表現の工夫について考えながら歌う。	8	表現を工夫しながら歌うことができたか 実技テスト
7	鑑賞 1. 演奏家の姿勢を見ることにより、演奏の意識を高める。	「ピアノ独奏」「ピアノ協奏曲」 ①演奏の様子をDVDで観る。 ②腕や手の使い方を観察する。 ③楽曲の表現の仕方に気をつけて鑑賞する。	4	関心を持って鑑賞したか ワークシート 小テスト
9	鍵盤楽器に親しむ 1. 指使いの基本を習得する。 2. 生徒個々が課題曲を選び、学習する。 3. 個々の成果を発表する。	「ハ長調の音階」「自己課題」 ①鍵盤楽器の指使いに慣れる。 ②一人一人の課題曲を選び、個々のペースで練習する。 ③練習の成果を発表する。	8	関心をもって取り組んでいるか 自主的に選曲できたか ワークシート 実技テスト

月	課題・目標	学習内容・要点など	配当	実習・評価等
10	コンサート 1. ソロやアンサンブルの楽しみを味わう 2. クラスで発表会を行う	①グループを作り、発表する曲目を選ぶ ②楽器の扱い方に注意し、演奏法を習得する。 ③各グループで曲に合った表現の工夫について話し合い、練習する。 ④コンサート形式で発表する。	10	積極的に演奏に臨むことができたか。  ワークシート 自己評価票 実技テスト
11	ヴォーカルアンサンブル 1. 歌い合わせる楽しみを体験させる 2. 無伴奏における和声の響きを研究する	①模範演奏を聴き、ハーモニーを感覚的にとらえる。 ②発声について工夫する。 ③表現の工夫について研究する。	6	発声や表現を工夫して歌うことができたか
12	自己課題 1. 自分に合った楽曲に取り組む 2. 演奏やレポートを発表する	①ジャンルの枠を設けず、関心のある事柄について演奏の練習をしたりレポートを作成したりする。 ②それぞれのペースで学習を進める。 ③発表会を行う。	6	自己評価票
1	鍵盤楽器に親しむ 1. 指使いの基本を習得する。 2. 生徒個々が課題曲を選び、学習する。 3. 個々の成果を発表する。	「ハ長調の音階」「自己課題」 ①鍵盤楽器の指使いに慣れる。 ②一人一人の課題曲を選び、個々のペースで練習する。 ③練習の成果を発表する。	4	関心をもって取り組んでいるか 自主的に選曲できたか 実技テスト ワークシート
2	弾き語りに挑戦 1. 鍵盤楽器を演奏しながら歌う。 2. 童謡やわらべ歌を理解する。	「とんぼのめがね」「ぞうさん」他 ①幼児教育に携わる機会を想定し、伴奏しながら歌うことに挑戦する。 ②難易度を考慮し、自主的に選曲する。 ③成果を発表する。	6	積極的に取り組んだか 成果を発表することができたか

(70) 年間総時数